

2011年度

科目名	心理学B			
担当教員	広沢 俊宗			
配当	文 1		コード	13008
開期	後期	講時	月曜日3限	単位数 2
授業テーマ	人間関係の心理学			
目的と概要	対人認知と人間関係の心理について、社会心理学の視点から考察する。具体的には、「1. 人間関係の心理学とは」「Ⅱ. 出会いの心理学」「Ⅲ. 対人魅力の心理学」「Ⅳ. 親密な人間関係」「Ⅴ. 対人コミュニケーション」「Ⅵ. 幸福感と人間関係」の5つのテーマについて講義する。そして、対人場面における社会的スキルを向上させ、よりよい人間関係の構築に役立てることをねらいとする。			
成績評価法	小レポートなどの平常成績(20%)と最終試験(80%)をあわせて、100%で評価する。			
テキスト	藤本忠明・東正訓／ワークショップ人間関係の心理学／ナカニシヤ出版			
参考書	藤原武弘編／社会心理学／培風屋館			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	授業を1／3以上欠席すると、最終試験の受験資格を喪失するので注意すること。 なお、授業で学習するテキストの範囲を必ず事前に読み、講義に臨むこと。			
講義計画				
1. 人間関係の心理学 人間関係を社会心理学の視点から考察する。 2. 出会いの心理学 人と人との出会いについて、対人認知の視点から考察する。 3. 対人魅力の心理学 (1) 対人魅力の規定因である近接性、単純接触の効果、身体的魅力について学ぶ。 4. 対人魅力の心理学 (2) 対人魅力の規定因である類似性、相補性、好意の返報性について学習する。 5. 対人魅力の心理学 (3) 好かれる人・嫌われる人の特徴について考察する。 6. 親密な人間関係 (1) loveとlikingについて概観する。 7. 親密な人間関係 (2) 愛情の構成要素、愛情の類型について学習する。 8. 親密な人間関係 (3) 恋愛の成立と進展に関する理論について学習する。 9. 親密な人間関係 (4) 青年期における友人関係と孤独感の構造について考察する。 10. 対人コミュニケーション (1) 対人コミュニケーションとそのプロセスモデルについて概観する。 11. 対人コミュニケーション (2) 非言語的コミュニケーションとその構成要素について理解する。 12. 対人コミュニケーション (3) 効果的なコミュニケーションについて、聞き上手の観点から解説する。 13. 対人コミュニケーション (4) 効果的なコミュニケーションについて、話し上手の観点から解説する。 14. 幸福感と人間関係 グループワークにより主観的幸福感の規定因を探る。 15. まとめ 今までに学んだ内容の理解度を確認し、人間関係について再考する。				